

平成25年度 第4回大和市総合計画審議会 会議録

- 1 日 時 平成26年2月3日（月） 午後2時00分～4時00分
- 2 場 所 大和市保健福祉センター5階501会議室
- 3 出席者 委員10名（池田、伊知地、川淵、杉下、関水、田中(孝)、田中(寛)、豊田、中林、長谷川）
（欠席者1名）
- 4 傍聴人 なし
- 5 次 第
 - 1 開 会
 - 2 議 事
 - （1） 施策評価について
 - （2） 平成26年度市民意識調査について
 - 3 その他
今後の予定について ほか
- 6 会議資料
 - 資料1-1：総合計画審議会における施策評価（二次評価）について《報告》
 - 資料1-2：平成26年度「めざす成果」施策評価シート（案）
 - 資料1-3：平成24年度「めざす成果」施策評価シート
 - 資料1-4：平成26年度施策評価（二次評価）（案）
 - 資料2-1：平成26年度第8次総合計画に関する市民意識調査の実施について
 - 資料2-2：平成23年度第8次大和市総合計画に関する市民意識調査票

【議 事】

- 会長 : 「施策評価」について、これまでの審議について事務局より報告をお願いする。
- 事務局 : 施策評価について報告
- 会長 : 審議会の委員が1名増えるようだが、市民委員を3人から4人にするということか。
- 事務局 : そのように考えている。
- 委員 : 任期について確認だが、現在の委員はいつまでか。
- 事務局 : 今年の7月23日までとなる。
- 委員 : 今日の会議が実質的に最後と聞いているが、今後、臨時に開催されることがあれば、それは現在の委員になるのか。
- 事務局 : 今のところ予定はないが、もし臨時で必要があるとすれば、現在の委員にお願いすることとなる。

- 会長 : 市民委員の公募は、いつ行うのか。
- 事務局 : 新年度に行う。現在の市民委員の応募を妨げるものではないが、できるだけ多くの市民に携わって欲しいという考えを持っている。学識経験者については、改めて個別に意向を確認する。
- 委員 : 審議会ごとに公募時期が異なっているので、公募の予定が一覧になって見られると良い。
- 事務局 : 新年度にむけて、ホームページを修正し、公募時期を一覧で見られるようにする予定である。
- 会長 : 報告内容について、他に意見等はあるか。
- 一同 : 意見なし。
- 会長 : 続いて、施策評価について、シート等の説明を事務局より願います。
- 事務局 : 施策評価シートについて説明
- 会長 : 平成26年度の施策評価に向けて、レイアウトを変更したいということである。
- 委員 : 施策評価シートにある「今後の方向性」について、「見直しのうえで継続」以外にも表記はあるのか。
- 事務局 : 事務事業評価の結果を転載しており、「現状のまま継続」「見直しのうえで継続」「廃止または終了」の3つから選択している。
- 委員 : 定型文なので仕方ないが、何を見直すのか、なぜその方向性にするのか、分かりにくい。
- 事務局 : 事務事業評価においては、事業の成果や事業費、社会的配慮などについて細かく評価し、総まとめとして今後の方向性を3段階から選択するとともに、文章でも詳細に示している。
各担当が評価した成果として施策評価シートにも掲載しているが、誤った印象を与えてしまうのであれば、再検討が必要と考える。
- 会長 : 「評価と課題」で今後の対応手法について言及することとしているので、「見直しのうえで継続」とした評価への対応を明記していくことになるのではないか。
- 事務局 : 施策評価のシートとして課題を明記していく考えである。事務事業評価とはレベルが異なるかと思う。
- 委員 : 施策評価シートの1枚だけでは全てを網羅することが難しいと思う。「見直しのうえで継続」など、今後の方向性を示した担当部の視点などを掲載できないか。
- 事務局 : 事務事業評価のデータを画一的に反映することは難しいかもしれないが、試行していく中で審議会からもアドバイスをいただきたい。
- 委員 : 次回の施策評価に向けてということで提示されたが、以前の施策評価シートのほうがむしろ良い印象を受ける。審議会としては、より具体的なことが記載され、今後に向けた提案などを共有できたら良いのではないかと思います。

- う。
- 事務局 : 案として用意したため、記載内容の例示が網羅的になっているかもしれない。委員の言われたことは非常に大事なことと捉えている。この施策評価シートは、一次評価として、審議会による二次評価に先行して公表する。施策についての評価になるため、課題の部分は担当部が記載することにしており、全てを書ききれないところもある。二次評価に向けた詳細については、部会でのヒアリング等で説明したいと考えている。
- 会長 : 部会では、事業遂行上の問題点などを聞かせてもらえるよう、マニュアル化しておく必要があるかもしれない。
- 事務局 : 新たな施策評価では、その点についても明確にしていきたいと考えている。
- 委員 : 以前の施策評価シートでは、「成果を計る指標」の変遷が分かるようになっているが、新しい施策評価シートでは、現状値と目標値がメインになっている。
- 事務局 : 経過が分かるようにレイアウトを再検討する。
- 委員 : 前期と後期の目標値が同じ数値になっているのはなぜか。
- 事務局 : 実績を踏まえて改めて後期の目標値を設定したので、中には、前期と同じ目標値や、前期より目標値を下げた指標もある。目標値設定の考え方については、後期基本計画書の巻末に掲載している。
- 会長 : 後期基本計画書に掲載されている「計画策定時」の数値は、平成25年度の数値になるのか。
- 事務局 : 後期基本計画の策定に向けて測定した数値になるので、平成24年度末の数値が主になっている。
- 会長 : 施策評価シートに、後期基本計画の策定時の数値を掲載してはどうか。
- 委員 : 前期基本計画期間の最終年度の数値ではどうか。
- 会長 : 判断基準となる数値も必要と思うので、検討してほしい。
- 委員 : 審議会による二次評価のひな形について、全てを定性的な文章で表現するよりも、例えば、総括、分析、課題などの小見出しをつけてはどうか。
- 事務局 : 審議会としてのまとめを表すものである。実際の案を示すときに、スタイルを相談させていただく。
- 会長 : 内容によって、項目を統一することは難しいと思うが、ある程度スタンダードなスタイルとして検討してほしい。
-
- 会長 : 市民意識調査について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 : 市民意識調査について説明
- 会長 : 意見、質問等はあるか。
- 委員 : 対象者に外国人を含むとあるが、どのように対応するのか。
- 事務局 : 調査票を翻訳したものを送付したいと考えている。
- 委員 : 長く在留している方もおり、日本語のまま大丈夫な外国人もいる。その

ような人にとっては、未だに外国語のものが届くということに違和感を覚える人もいる。日本語にルビをふるだけでも、ある程度はカバーできるかもしれない。

- 委員 : 保育園では、日本語を読むのが得意でない外国籍の保護者もいる。
- 事務局 : 本市には 70 か国ほどの外国人が住んでいるので、全ての言語に対応することは難しい。また、前回の調査結果では、回答率もあまり高くなかった。実施については、前回を検証して検討していきたい。
- 委員 : 回答者が外国人かどうかはわかるのか。
- 事務局 : 調査票そのものが回答書として返送されるので、外国語の調査票が戻ってくれば、外国人かどうかはわかる。
- 委員 : 前回の回答率の 50.2%は、この手のアンケート調査としてはとても高いのではないか。
- 事務局 : 負担の少ない設問数となるように配慮するとともに、回答依頼の督促を行っている。
- 委員 : 問3で、施策に対する重要度と満足度を聞いているが、どちらが優位なのかよくわからない。アンケートの回答は、一定の仮説を立てて選択肢を検討する必要がある。
- 事務局 : 次回の市民意識調査では、シティセールスについての設問を増やしたいと考えているが、設問についてはコンサルティング業者とも相談して決めていこうと考えている。
- 委員 : 市民の意識を調査するという点では、アンケートだけでなく直接ヒアリングする等の方法もある。市民生活上の問題の所在を明らかにすることも必要かと思う。
- 事務局 : 後期基本計画の策定にあたって、市民意見交換会なども行ってきた。総合計画は範囲が広く、話題が多岐にわたっており、施策を絞り込んで対応していくことも必要ではないかと思っている。新年度は、市民討議会の開催も予定している。
- 委員 : やまとeモニターも活用できるのではないか。
- 事務局 : 現在 2,000 人以上の登録者がおり、意見聴取の方法の一つとして捉えている。現在、各課がそれぞれテーマを設けてeモニターでアンケート調査を実施している。市政全般に関するテーマとする場合は、当課が所管となる。
- 委員 : 以前にも述べたが、伝える力と伝わる力には違いがある。シティセールスなどについては、市外の人にどのように大和市が伝わっているのかを調査することも必要ではないかと思う。市外の人にとっては、アンケートそのものがシティセールスになるかもしれない。
- 事務局 : 鉄道利用者へのアンケートでは、駅の名前は知っていても、市の名前などまち自体が知られていなかったとの結果も出ている。

- 今後、相模鉄道が都心に乗り入れるなど、人の流れの変化も予想される中、本市の施策においても考慮する必要があると認識している。
- 会長 : アンケートにおいて、記述などを定性的に読み解くことにも意味があると思う。また、前回の市民意識調査では、ハード系に関する設問がソフト系に比べて少なかったかもしれないので、次回はその点についてバランスをとっても良いと思う。
- 事務局 : 住まいの地域について尋ねている設問は、どのような意図からか。
- 会長 : 本市は、南北や東西に地域差がある場合も想定されることから、その点を検証するために記載してもらっている。
- 会長 : 自分の地域を見つけやすいように、並び順を配慮したほうが良い。また、問3については、あなたにとって、という問いのほか、市にとって、という問いを増やしてはどうかと思う。
- 事務局 : この会議のあとでも意見があれば、事務局へ伝言してほしい。
- 委員 : 今回出来上がった後期基本計画の冊子では、表紙などのイラストに同じ方の作品が使用されているが、公募などによって選ばれたものなのか。
- 事務局 : 2012年の第2回 YAMATO イラストレーションデザインコンペの優勝者の方に作画をお願いした。
- 委員 : 絵柄などにもよるが、長く使う冊子なので、市民が馴染みやすいものにするなど、どの様なものを使用するのか審議会に事前に相談してもらえれば良かった。
- 会長 : いまの意見を含め、様々な考え方があがる。イベントキャラクターはシティセールスの大きな目玉として取り組んでいることもある。今後は、きめ細かい対応を考えてもらいたい。

【その他】

- 事務局 : 今回の審議会で、現在のメンバーでは最後となる。これまでご尽力いただき、心から感謝を述べる。

以 上